



Title	「デザイン理論」投稿規定/「デザイン理論」新投稿宛先（新編集事務局）/「デザイン理論」執筆要領/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2014, 63, p. 133-135
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/56280
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正, 昭和60年11月8日改正
平成2年11月10日改正, 平成6年7月9日改正
平成14年11月9日改正, 平成18年11月18日改正
平成24年11月24日改正

1. 内 容：デザインに関する未発表の論文, 研究報告等。 限は, それぞれ3月31日, 8月31日とする。
 2. 投稿資格：本学会員
 3. 採 択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
 4. 査 読：学術論文については, 編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は, (A)無条件採用, (B)条件付採用, (C)不採用とする。
 5. 執筆要領：別に定める。
 6. 提出期限：基本的には随時。ただし, 学術論文は, 査読のため, 5月春号掲載希望は, 1月15日, 11月秋号掲載希望は, 6月30日を締め切りとする。学術論文以外は, これは投稿予告の期限で, 実際の投稿期
 7. 提 出 先：意匠学会編集委員会
- 付記（著作権について）
- ・本学会誌に掲載された論文の著作権および編集出版権は本学会に帰属するものとする。
たとえば論文集または電子データの形で出版する権利, またデジタル・アーカイブ化等の権利である。
 - ・ただし著者本人が利用する場合には制約を受けない。
 - ・本学会は, 執筆者の所属機関においてなされる本誌に掲載された論文の電子的な応用（所属機関のリポジトリでの公開）を妨げない。
- なお以上の規程は, 平成24年11月24日より発効する。

「デザイン理論」投稿宛先（編集事務局）

意匠学会『デザイン理論』編集委員会（投稿票を添付のこと）

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

宮城学院女子大学学芸学部 吉村典子研究室気付

TEL/FAX : 022-277-6108

e-mail : design.riron@gmail.com

1. 原稿

- ・原稿は、ワープロあるいはパソコン・ソフトで作成することが望ましい。
- ・A4大の用紙に1行42字、1頁32行程度で作成すること。
- ・学術論文の場合は、A4サイズのレイアウト見本4部同封して編集委員会宛に投稿すること。(テキスト・データ、図表版下あるいは図表データは査読を経て掲載が決まった段階で、最終原稿として最終的なレイアウト見本とともに編集委員会宛に郵送する。)
- ・研究報告の場合は、テキストおよび図表データとA4サイズのレイアウト見本を郵送する。
- ・書評、図書紹介、発表要旨については、テキストおよび図表データとA4サイズのレイアウト見本を編集事務局に郵送するか、あるいは編集担当者に電子メールに添付して送付する。
- ・学術論文、研究報告、等の本文データのファイル形式はプレーン・テキストかワードに限る。
- ・学術論文、研究報告、等の図表をデータで提出する場合、ファイル形式はJPEG、TIFF等の一般的なものとし、解像度、画像サイズ等を適切に設定すること。またその場合も必ずデータのプリントアウトを添付すること。
- ・原稿用紙を使用する場合は、本文は400字詰横書き原稿用紙を使用し、レイアウト見本を付す。
- ・投稿に際しては、原稿のコピーを手許に保存すること。

2. 原稿の分量

- ・学術論文と研究報告の場合は、本文、図

版、図表、注等をすべて含めて、刷り上りで、14頁以内。(400字詰原稿用紙で約45枚)

- ・書評の場合は、刷り上りで2頁、4頁、6頁等偶数頁に収まること望ましい。
- ・図書紹介及び発表要旨の場合は、刷り上りで2頁に収めること。

3. 原稿の構成

- ・学術論文と研究報告の場合は、本文(図版、図表、注を含む)とは別に欧文要旨(原則として英文)を添付すること。
- ・本文第1頁に、表題、著者名、キーワード、目次を付すこと。
- ・欧文要旨は、刷り上り1頁とする。語数は約200語。当該言語を母国語とする人による校閲を得ておくこと。
- ・キーワード(和文と英文)は、それぞれ5語以内とする。

4. 図・表のレイアウトなど

- ・図版はモノクロームとし、位置の指定、大きさ、レイアウト、必要なトリミングなどはすべて執筆者が行うこと。
- ・図版などの著作権の問題があると思われる場合は、執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。
- ・当学会は、著作権についての責任は負わない。

付記

- ・学術論文は、口頭発表を経てから投稿されることを原則とする。
- ・口頭発表を経た投稿者は発表した例会または大会について、投稿票の所定の欄に以下のように記入すること。

第●●●回研究例会／大会

場所：●●大学

年月日：20●●年●月●日

編集後記

デザイン理論63号をお届けします。本号の発行にあたり、多くの方のご協力いただきましたことに感謝します。とりわけ査読をしていただいた方には厚くお礼申し上げます。

さて、これまでこの『デザイン理論』は研究成果の報告だけでなく、本学会のさまざまな活動を会員の皆様にお知らせするという役割も担ってきました。しかし、今日のように学会を取り巻く状況が日々変化するようになると、年二回発行の学会誌ではこれに対応した規則の変更、その他の情報を皆様に素早くお知らせできません。そこで今後は、これまで以上にホームページを活用し、情報を提供していくことになりました。投稿規定に関しましても同様です。最新号に記された投稿規定はもちろん、ホームページもご覧になって、規定通りに原稿の体裁を整えて下さるようお願いいたします。もし、不明な点がありましたら、早めにお知らせ下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。(伊集院敬行)

62号に訂正がございます。

望月論文

84頁 誤《Taking myself》
正《Talking To Myself:
Phenomenological Operation》

以上、訂正してお詫びいたします。

編集委員 (査読者を含む)

吉村典子 (委員長), 伊集院敬行 (副委員長), 大森正夫, 面矢慎介, 佐藤敬二, 島先京一, 多田羅景太, 常見美紀子, 廣田孝, 三木順子, 藪亨, 山口良臣, 横川公子

査読者 (敬称略)

青木美保子, 伊原久裕, 岸文和, 菅靖子, 杉本清, 成実弘至

デザイン理論 63号

Journal of the Japan Society
of Design, 63/2013

発行日 2014年2月28日

発行 意匠学会

事務局 〒560-8532

大阪府豊中市待兼山町1-5

大阪大学大学院文学研究科 美学研究室内

FAX : 06-6850-5121

e-mail : japansocietyofdesign@gmail.com

発行者

意匠学会『デザイン理論』編集委員会

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

宮城学院女子大学学芸学部 吉村典子研究室気付

TEL/FAX : 022-277-6108

e-mail : design.riron@gmail.com

編集責任者 伊集院敬行

印刷所 (株)北斗プリント社

TEL : 075-791-6125
